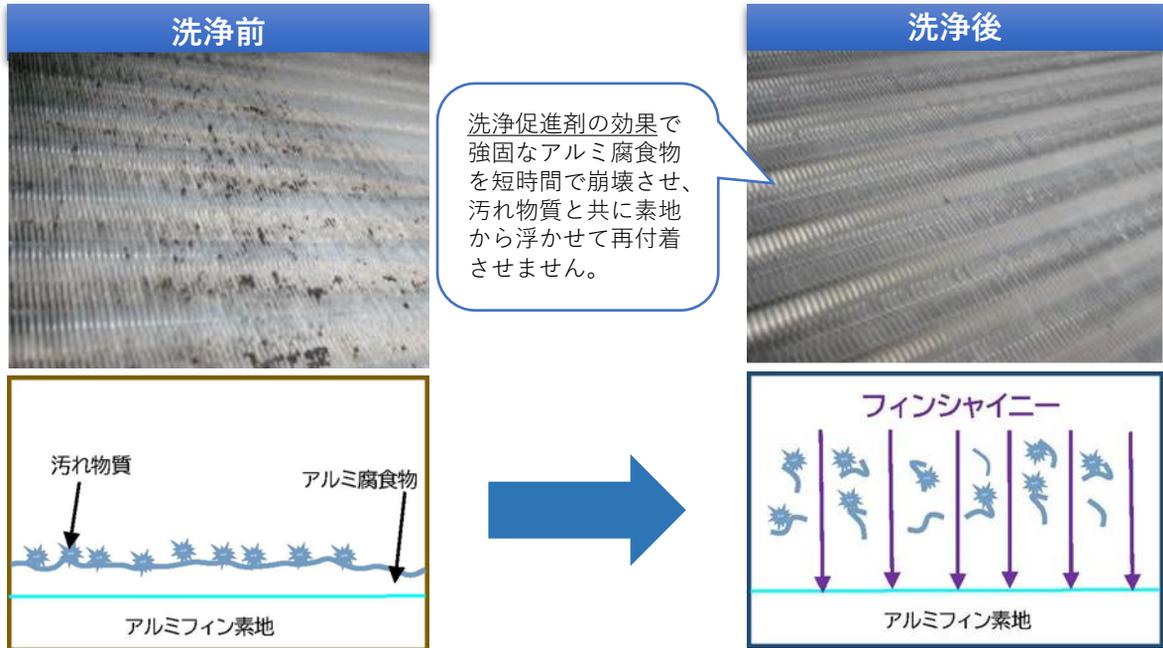


## 業務用

## フィンシャイニー & フィンリンスXX

- ・アルミフィンに堆積した白粉(アルミ腐食物、スケール) や、油、ヤニ、ホコリ等の汚れを除去して熱交換率を改善して電力の浪費を防止します。
- ・洗剤促進剤の効果により短時間で洗浄できます。また冬期の低温時でも優れた洗浄性を発揮します。
- ・除菌・消臭効果があります。
- ・洗浄後にリンス剤を使用する事でアルミフィン表面を中和します。



### 【使用方法】

- ① フィンシャイニーを10～20倍に水希釈してください。
- ② 電気系統やゴム類等、アルミフィン以外の箇所に洗浄液が付着しないようビニールシート等で養生してスプレーしてください。
- ③ フィンリンスXXをフィンシャイニーと同じ濃度で水希釈し、リンスして中和させます。
- ④ 水で十分にすすぎ、フィンに付着している水が中性であることをpH試験紙で確認して乾燥させます。  
(※リンス剤を使用しない場合は多量の水で十分に洗剤を洗い流してください。)

### 【性状・荷姿】

製品名	フィンシャイニー	フィンリンスXX
用途	洗浄剤	中和剤
外 観	無色透明液体	無色透明液体
pH (原液)	13以上	4.5
荷 姿	10Kg (BIB)	4Kg×4個入り

### 作業に関する注意点

- ・SDSをよく読んでからご使用下さい。
- ・作業時にはゴム手袋等の防護具を必ずご使用下さい。
- ・身体に付着すると刺激性がありますのでご注意ください。
- ・付着した場合は、直ちに流水でよく水洗して下さい。
- ・腫れや痛みがある場合は医師の手当てを受けて下さい。

### 株式会社中外技研

〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町5-2-11  
 上六新興産ビル3階  
 TEL : 06-4305-7851 FAX : 06-4305-7852  
 Mail : [info@chugai-giken.jp](mailto:info@chugai-giken.jp) Web : [www.chugai-giken.jp](http://www.chugai-giken.jp)

## 安全データシート

### 1、製造品及び会社情報

会 社 名	:	会 社	株式会社中外技研
	:	住 所	大阪市天王寺区上本町 5-2-11
	:	担当部門	第一開発部
	:	電 話	06-4305-7851
	:	ファックス	06-4305-7852
作 成 日	:	2020 年 1 月 10 日	
改 定 日	:		

製 品 名 : フィンリンス XX

### 2、危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的性質】	【健康に対する有害性】
火薬類 <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	急性毒性（経口） <span style="float: right;">【区分外】</span>
可燃性・引火性ガス <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	急性毒性（経皮） <span style="float: right;">【分類できない】</span>
可燃性・引火性エアゾール <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	急性毒性（ガス） <span style="float: right;">【分類できない】</span>
支燃性・酸化性ガス <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	急性毒性（蒸気） <span style="float: right;">【分類できない】</span>
高压ガス <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	急性毒性（粉じん／ミスト） <span style="float: right;">【分類できない】</span>
引火性液体 <span style="float: right;">【区分外】</span>	皮膚腐食性・刺激性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
可燃性固体 <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	眼に対する重篤な損傷・刺激性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
自己反応性化学品 <span style="float: right;">【分類できない】</span>	呼吸器感作性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
自然発火性液体 <span style="float: right;">【区分外】</span>	皮膚感作性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
自然発火性固体 <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	生殖細胞変異原性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
自己発熱性化学品 <span style="float: right;">【分類できない】</span>	発がん性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
水反応可燃性化学品 <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	生殖毒性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
酸化性液体 <span style="float: right;">【分類できない】</span>	
酸化性固体 <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	特定標的臓器・全身毒性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
有機過酸化物 <span style="float: right;">【分類対象外】</span>	（単回暴露）
金属腐食性物質 <span style="float: right;">【分類できない】</span>	特定標的臓器・全身毒性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
	（反復暴露）
<b>【環境に対する有害性】</b>	
水生環境急性毒性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>	吸引性呼吸器有害性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>
水生環境慢性毒性 <span style="float: right;">【分類できない】</span>	

## GHS ラベル要素

### 【絵表示又はシンボル】

なし

### 【注意喚起語】

なし

### 【危険有害性情報】

- ・ 本剤に触れると眼、皮膚および呼吸器を刺激する。多量に飲み込んだ場合は、腹痛、嘔吐、下痢を起こす。

### 【注意書き】

#### [予防策]

- ・ 使用前に取り扱い説明書及び「製品安全データシート」を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ 飲み込んだり、吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにすること。
- ・ 取り扱った後、手、顔などをよく洗い、うがいをする事。
- ・ 個人用保護具（保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護手袋、保護衣、安全靴など）を使用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

#### [救急処置]

- ・ 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに口をすすぎ、医師の手当てを受けること。
- ・ 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移して呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるい場合は医師の手当てを受けること。
- ・ 眼に入った場合は水で15分以上洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続けること。痛みがある場合は医師の手当てを受けること。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合は、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水・シャワーで洗うこと。皮膚異常が生じた場合は医師の手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ ばく露又はその懸念がある場合は医師に連絡すること。
- ・ 取扱い中又は取扱い後に気分が悪い時は、医師の診断・手当てを受けること。

#### [保管]

- ・ 容器を密閉して、直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて、涼しい所／換気の良いところに保管すること。

#### [廃棄]

- ・ 内容物／容器を廃棄する場合には、当該法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
- ・ 使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

**3、組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 :

化学特性 (化学式等)	成分名	CAS 番号	濃度又は 濃度範囲(%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
非公開	pH緩衝剤	非公開	非公開	非公開
非公開	その他添加剤	非公開	非公開	非公開
H <sub>2</sub> O	水	7732-18-5	残	なし

**4、応急処置**

吸入した場合

- 新鮮な空気のある場所に移動させ安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行い、呼吸困難な場合は酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合

- 汚染された衣服、靴などを速やかに脱がせる。製品に触れた部分を多量の水又は微温水でよく洗う。外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受ける。

目に入った場合

- 直ちに清浄な流水で最低15分間洗眼した後、医師の処置を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗浄する。痛みがある場合は直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

- 水で口の中を洗浄し、医師の手当てを受ける。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせてはならない。

**5、火災時の措置**

消化剤

- 水溶液のため直接燃焼する事はない。水分が蒸発した後に燃焼した場合、消火する時は、粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水等の消火剤を用いて消火する。

特有の消火方法

- 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のため放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行なう者の保護

- 消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

---

## **6、漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 作業には、必ず保護具を着用する。風下の人を避難させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- ・ 濃厚な廃液が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法

- ・ 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、多量の水で洗い流す。
- ・ 多量の場合、付近への流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲って流出を防止し、できるだけ回収する。大部分を回収した後、多量の水にて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川、用水路などに排出されないように注意する。

---

## **7、取り扱い及び保管上の注意**

取り扱い

### **【技術的対策】**

- ・ 「8、ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

### **【局所排気装置・全体換気】**

- ・ 「8、ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。

### **【安全取扱注意事項】**

- ・ 使用前に使用説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
- ・ 眼、皮膚に付けないこと。
- ・ 接触、吸入又は飲み込まないこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 屋外又は換気の良い区域で使用する

### **【接触回避】**

- ・ 「10、安定性及び反応性」を参照。

保 管

### **【適切な保管条件】**

- ・ 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。
- ・ 容器は直接日光や火気を避けること。
- ・ 容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管すること。

### **【容器包装材料】**

- ・ 製品使用容器に準ずる。

---

## **8、ばく露防止及び保護措置**

管理濃度 : 設定されていない。

設備対策

- ・ 洗眼器と安全シャワーまたは水道設備が付近にあること。

保護具

### **【呼吸器用の保護具】**

- ・ 状況に応じてマスクの他適切な保護具を着用する。

### **【手の保護具】**

- ・ ゴム等の不浸透性の保護手袋を着用する。

### **【眼の保護具】**

- ・ 状況に応じて保護眼鏡等を着用する。

### **【皮膚及び体の保護具】**

- ・ 状況に応じて保護服、保護長靴、保護前掛け、保護衣、

### **【衛生対策】**

- ・ 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。
- 

## **9、物理的及び化学的性質**

物理的状態、形状、色など	: 無色透明液体
臭い	: 無臭
PH	: 4.5 (原液)
引火点	: なし
比重	: 1.04(20°C)
溶解性	: 水に溶解する。

---

## **10、安定性及び反応性**

安定性

- ・ 通常取り扱いにおいて安定である。

危険有害反応性・可能性

- ・ 特に情報を有していない。

危険有害な分解生成物

- ・ 特に情報を有していない。

その他の危険情報

- ・ 特に情報を有していない。

---

## 1 1、有害性情報

### 急性毒性

- ・ 経口 LD50 (ラット) : >5000mg/kg (計算値) より区分外とした。
- ・ 本剤に触れると眼、皮膚および呼吸器を刺激する。  
飲み込んでも毒性はないが、多量に飲み込んだ場合は、腹痛、嘔吐、下痢を起こす。
- ・ その他毒性 : 情報なし。

---

## 1 2、環境影響情報

- ・ 水生環境急性有害性 : 情報なし。
- ・ 水生環境慢性有害性 : 情報なし。

---

## 1 3、廃棄上の注意

### 残余廃棄物

- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。

### 汚染容器・包装

- ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法、及び関係法規・法令を遵守して、適正な処理をするように依頼する。

---

## 1 4、輸送上の注意

国連分類 : 未設定

国連番号 : 未設定

### 輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。
- ・ 転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。
- ・ 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行なう。

---

## 1 5、適用法令

労働安全衛生法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 非該当

---

## 1 6、その他の情報

### 参考文献

- 1) 各原料メーカーの製品安全データシート
- 2) Patty (5<sup>th</sup>, 2001)
- 3) DFGOT vol.19 (2003)
- 4) GHS 国連文書 改訂 2 版

- 5) 容器イエローカード塗料用マニュアル
- 6) GHS 対応 MSDS の書き方
- 7) 国際化学物質安全性カード (ICSC)

#### 記載内容の取り扱い

- ・ 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の手理扱いを対象としたものであつて、特殊な手理扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。